

神奈川県で「ぼうさい探検隊マップコンクール」の表彰式を開催

～ガールスカウト神奈川県第53団「GS KANAGAWA53」の栄誉を称える～

日本損害保険協会 関東支部 神奈川損保会（会長：森脇 新也・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社理事横浜支店長）では、このたび、第20回小学生のぼうさい探検隊マップコンクールで「デジタルマップ特別賞」を受賞したガールスカウト神奈川県第53団「GS KANAGAWA53」に対して表彰式を開催しました。

第20回となる今回のコンクールでは、全国の小学校、子ども会、児童館、少年消防クラブなど658団体から8,904人が参加し、1,708作品が寄せられた中、全部で22作品（入賞9作品、審査員特別賞8作品、デジタルマップ特別賞5作品）が入選しました。

特に、4年目を迎える「まち探検アプリ」を搭載した専用タブレットを活用したデジタルマップづくりは、ここ数年、急速に普及しており、デジタルマップの応募数は、第17回の298作品から第20回では約2.6倍の769作品まで増加し、全応募作品の約45%を占めるほどになっています。

このうち、関東支部所管地域では、「高層の建物のあるまちで災害が起きたら…」というテーマで、災害時の避難経路にあたる道路の亀裂や道幅の狭さ、商店の商品棚などにおける危険性を子どもの視点で細かく確認しており、改善点まで提案できている点などが評価され、「デジタルマップ特別賞」を受賞した同第53団「GS KANAGAWA53」への表彰式を2月25日（日）に横浜市金沢区「いきいきセンター金沢」で実施しました。

表彰式では、森脇会長から代表児童に表彰状と副賞（図書カード1万円分）が授与され、祝辞とともに『『危険な場所』と『安全な場所』をしっかりと見極め、『危険な場所』については、道路の補修・改善などについてしっかりと意見が述べられており、大人だとい見逃してしまいがちなことを「子ども目線」での気づきとしてまとめ上げた力作である。』との講評が述べられました。

続いて、まち歩きとマップ作りに携わった児童5名全員から、「まち探検をして感じたこと」、「マップを作ったこと」、「工夫した点や苦労した点」、「今後、どのような活動をしていきたいか？」などについて、順番に発表が行われました。

引き続き、子ども達を指導した団員長とリーダーから、「ぼうさいマップ作りは、ガールスカウトのモットーである『そなえよつねに』を体感することのできる活動であり、当団では、子ども達自らの気づきを大切に、18年にわたり毎年取り組んでおり、日頃の防災活動の重要性と継続の意義を実感している。」、「子ども達の頑張りをこのような形で評価していただけたことは、子ども達にとって大変励みになるので有難く感謝している。」旨の挨拶と謝辞があり、最後に児童と関係者で記念撮影を行って式典を終了しました。

当支部では、今後も関係機関・団体等と連携し、ぼうさい探検隊を中心に、防災教育活動の普及啓発に取り組んでまいります。



森脇会長からの表彰状の授与



森脇会長からの祝辞と講評



参加児童による活動報告



来賓・関係者を交えての記念撮影